



顧春芳先生を送る

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2019-04-03 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 清原, 文代 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10466/16265

顧春芳先生を送る

清原文代

(大阪府立大学高等教育推進機構)

顧春芳先生が2019年3月末に定年退職されます。顧先生と共に働いた日々を回想してみます。2005年度に大阪府が設置する3つの大学（大阪府立大学・大阪府立看護大学・大阪女子大学）が合併し、わたしは大阪女子大学の大仙キャンパスから大阪府立大学の中百舌鳥キャンパスに移り、当時の総合教育研究機構（現在の高等教育推進機構）の初修外国語（第二外国語）グループで中国語教育を担当することになりました。2019年4月、大阪府立大学は大阪市立大学と法人合併します。法人合併後も2大学はそれぞれ存続しますが、計画では2022年度に両大学は合併し1つの大学になる予定です。奇しくも顧先生と共に働いた13年間は大学合併と大学合併の間の期間ということになります。

初修外国語グループのメンバーは2005年当時も今も国際的で、教員の母語は5言語（ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語、日本語）、日本語を母語とする教員の方が少数派、日本語が母語でない教員が過半数を占めます。

合併後、大阪女子大学人文社会学部に所属していた教員の多くは大阪府立大学の人間社会学部に所属することになりましたが、わたしは一人で総合教育研究機構の初修外国語グループにやって来ました。不安を抱えながらの異動でしたが、幸いにも初修外国語グループの先生方に温かく迎えられました。とりわけ同じ中国語担当ということで、顧先生にはとてもよくしていただきました。わたしの中国語はわたしの母語である日本語ほどは微妙なニュアンスを表現することができないため、どうしても直截で単純な表現が多くなり、顧先生に対して失礼な言い方や誤解を招くような表現をしてしまったことがあると思いますが、顧先生は常にわたしの舌足らずな中国語に耳を傾け、寛容に接してくださいました。ここにあらためて感謝申し上げます。

日本の大学教員の仕事は多岐にわたります。顧先生とは主に教育の面でご一緒に仕事をしました。初修外国語グループのメンバーに温かく迎えられたものの、合併当初わたしの心の中にはどこか壁のようなものがありました。初修外国語グループでPodcast（インターネット配信の一種）を作ったのがきっかけにその壁がなくなったように思います。最初は何の資金もなく研究室で4言語（ドイツ語・フランス語・韓国語・中国語）の短い文の音声をそれぞれ100個録音して配信しました。つぎに平成18年度（2006年度）大阪府立大学総合教育研究機構プロジェクト型研究費を得て、2007年より5言語（ドイツ語・フランス語・韓国語・中国語・英語）で旅行をテーマとした初級教材の音

声とPDFファイルのPodcast配信を始めました。中国語については、顧先生と共に『大阪府立大学中国語ポッドキャスト旅行会話編』全30回を作成し、配信しました。顧先生はPDF教材だけでなく、中国語の音声も担当してくださいました。この教材は現在大阪府立大学の学術情報リポジトリOPERAに収録されており、無料で音声とPDFをダウンロードすることができます。この他OPERAには顧先生が紀要に書かれた論文も多数収録されていますので、顧先生のお名前でもOPERAを検索してみてください。

大阪府立大学学術情報リポジトリOPERA

<http://repository.osakafu-u.ac.jp>

2019年1月高等教育推進機構の教授会で、顧先生を本学名誉教授とすることが決定されました。その際に資料として提出された顧先生の履歴書には数多くの研究論文を執筆されたことが記載されておりました。わたしはもっぱら中国語教員として顧先生に接し、研究者としての顧先生とお話しする機会を持たなかったことを今更ながら悔やんでおります。

一般に外国語を母語とする教員というと、日本語の問題があるため校務には関わらないというイメージがありますが、顧先生は学内委員会の委員を一貫して務めておられました。初修外国語グループの主任としても活躍されました。顧先生が日本語と母語とする教員と同じように校務を担当してくださったおかげで、たいへん助かりました。また、初修外国語の場合、同じ時間帯に多くの授業を開講するため、非常勤講師の先生方のお力が不可欠ですが、顧先生は非常勤講師の先生方のお世話も一手に引き受けてくださいました。顧先生は研究・教育・校務と多方面で任務を全うされたのです。わたしが逆の立場、すなわち中国の大学で中国語を使って同じように仕事ができるか？と問われると、わたしにはとても無理でしょう。

科学が発達した現代では「人生百年時代」などと言われるようになりました。顧先生におかれましては、定年退職後は雑務から開放され、健康長寿を保ち、充実した生活をお送りになられることを心より祈念して顧先生を送る文とします。

谢谢顾老师！

2019年1月